

原子力部品という精度が 要求される現場で選ばれた逸品！

スーパーG1チャックユーザー検証

会社名 有限会社前田工作所 様
(兵庫県たつの市)

加工名 原子力発電所関係の部品加工

使用機械 BT40、BT50 マシニングセンタ

High Precision Standard



ユーザー通信 号外(2010年10月28日掲載)

精密部品加工

YUKIWA USER 05 (ユーザー通信・10年2月1日号掲載)

前田工作所 兵庫県たつの市

スーパーG1チャック

「振れるわけにはいかない」 現場に選ばれた逸品



前田悦男社長

声を揃える。「あっ、そうか。それ知らなんだ。」と前田社長。続けて、「そんなアホなことですわ！」と笑い飛ばす。：というような会話が目の前で展開された。

「心臓部」の部品

そんな「ラフ感」とは対を成すかのように、「原子力発電所」関係の部品加工が同社の、文字通り「核」となっている。そのエリアは北海道から九州まで全国に及び、現在では、売り上げの60%を占める。

「ウラン燃料を制御するバルブ。弁座、弁棒といった「心臓部」の部品であり、核反応炉の中で『煙々』とメイソシ、かつ加工をメインとし、かつては、東京や大阪の国立大学との協業による「核融合実験装置」の部品、宇宙開発事業団のロケット部品なども手掛けた実績も持つ。

「稀」な設備と精度で需要をキャッチ

「ミクロン台の精度を外すと『アウト』な仕事が多いので、現場で、ツールリングに関しては「値段はとやかく言わないので、一番いいものを買え」と伝えてある。どこのメーカーの何を使えと一切口を挟まない」という社

現場とのフランクな会話や社長の反応(?)も、裏を返せばその「評価の賜物」ということか。昨今の景況下、原発関係は「さほど変動はない」といいますが、その他の40%を占める半導体関係やタービンブレード関係の減産を補うべく、その「精度」を武器に、新たな研究開発の単品もの、試作品といったところを「狙い」とする中で、原子力発電所の「消火装置」部品といった新規案件も決まっ

かなり以前に製造中止となった、前田社長曰く「骨董品」であり、日々全国の「出物」にアンテナを張り巡らせ買い漁る：「完全オーバホール」、新品よりも精度を出した上で、現在、全12台を揃える。

再び現場に出向くと、4年前に独立し、現在は社内請負として活躍する上口氏と幸いにも遭遇した。

前田社長は、ココぞとばかりに「彼が『G1』を入れた当時をリアルタイムでよう知る人間やで」と話を振ると、

「17、18年前、出てすぐに飛び付いた！」「驚いたのは、刃物もつ、もつ！ちょっと高い刃物でもすぐペイできる。」

「総合触れ精度5μmはユキワさんだけが『保証』やった」「コレットのもちがいい」：と矢継ぎ早に賞賛。

また、「もうちょっとフレキシブルにコレットのバリエーションが欲しいな」との期待も寄せた。いずれにせよ、国内、海外含めた他メーカーから出る最新型も一度は試した上で、「ウチでは」と前置きしつつも、「ユキワさんは敵わない」と、ラフ感漂う現場での絶賛は後を絶たなかった。



自社オリジナル製の刃物も多い



ズラリ並んだ「スーパーG1チャック」を前に

「機械の精度とツールリングの精度で評価を得ている」と自覚する同社だが、いろいろな観点からも非常に興味をそそる「エピソード」がある。「それがあるから原発関係の仕事が来る」というのが「昌運工作所」製の汎用旋盤だ。原発のバルブの設計は図面自体が、30、40年前から「ずつと変わっていない」こともあり、そのときに、一番の精度を誇っていた昌運製汎用旋盤が、現在でも「最高」なのだという。



- ★ 剛性もあり、エンドミルのもちもよく、精度も良い。
- ★ ユキワだけ掴んだところから精度を「保証」している。
- ★ 驚いたのは、刃物がつ、もつ！ちょっと高い刃物でもすぐペイできる。
- ★ ユキワだけ精度(総合振れ精度5μm)を保証していた。
- ★ コレットの持ちが良い。

スーパーG1チャックに変えたら...